

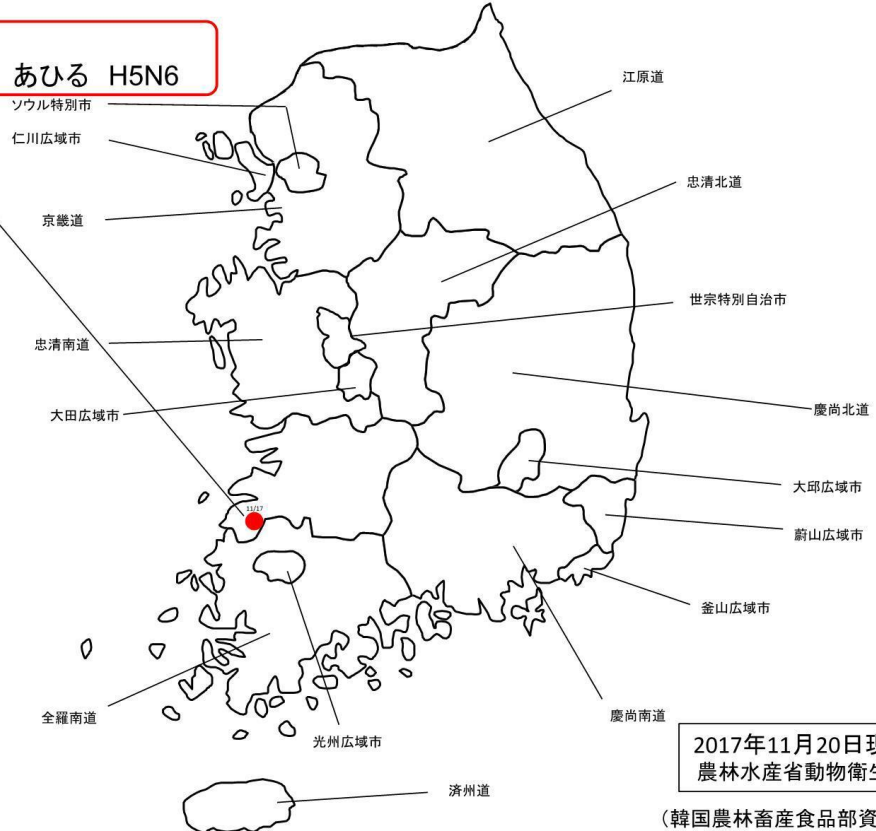
韓国で高病原性鳥インフルエンザが発生！

韓国における高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生状況（2017年11月以降）

全羅北道(1件)
11月17日※ 高敞(コチャン)郡 あひる H5N6
※ 日は検体の採取日

(概要)

- ・ 肉用あひる飼養農場(飼養羽数12,300羽)
- ・ 11月18日:出荷前検査のPCR検査により、H5亜型の鳥インフルエンザウイルスを検出。殺処分を開始するとともに、移動制限を設定。
- ・ 11月19日:検出されたウイルスは、H5N6亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスであることを確認。



韓国で家きんでは今シーズン初となる高病原性鳥インフルエンザの発生がありました。過去、韓国で発生したシーズンは日本で発生することが多く、警戒が必要です。

日本でも鳥根県において複数の死亡野鳥からウイルスが検出されており、国内の家きんでの高病原性鳥インフルエンザの発生リスクも高まっていると考えられます。野生動物対策、人・物・車によるウイルスの持ち込み防止を十分行うようお願いします。

以下のポイントを要チェック！

- ※ 鶏舎の壁や金網に破損があればすぐ修理！
- ※ 農場・鶏舎に入る時は手指の洗浄・靴の消毒！
- ※ 農場専用の衣服・各家きん舎専用の靴を準備！

家きんに異常を発見した場合は、
すぐに家畜保健衛生所までご連絡ください